

超臨界流体部会 幹事会・第26回部会集会資料 兼 議事録

(青字部分が議事録)

(幹事会)

日時 平成26年3月18日(火)

13:00-13:50

場所 岐阜大学

(部会集会)

日時 平成26年3月18日(火)

18:30-20:30

場所 岐阜ワシントンホテル

報告事項

- | | |
|-------------------|------|
| 1. 平成25年度事業報告 | 資料 1 |
| 2. 平成25年会員数 | 資料 2 |
| 3. その他報告事項 | 資料 3 |
| 4. 平成25年度部会収支決算報告 | 資料 4 |
| 5. 受賞 | 資料 8 |
| 6. 平成25年会員移動 | 資料 9 |

審議事項

- | | |
|------------------|------|
| 1. 平成26年度活動計画 | 資料 5 |
| 2. 平成26年度部会収支予算案 | 資料 6 |
| 3. その他 | 資料 7 |

資料1 平成25年度事業報告

■平成25年度主催事業

・H25.3.17 超臨界流体部会 第24回部会 (阪急ターミナルビル)

1. 部会役員
2. 平成25年度活動計画
3. 平成24年度部会収支予算案

参加人数 48名

・H25.8.1-2 超臨界流体部会第12回サマースクール (クロス・ウェーブ船橋(船橋))

「バイオマス有効利用のための超臨界流体技術」 講演 8 件

参加人数 49名(うち講師 8名 協賛会員 3名 学生 6名)

・H25.9.16-18 化学工学会 第45回 秋季大会/岡山大学 津島(東)キャンパス

(同志社大学今出川キャンパス)

「亜臨界・超臨界流体を含む系の物性研究の最前線」

基礎物性部会との共同開催 / オーガナイザー: 佐藤善之(東北大)、佐々木満(熊本大)、堀川愛晃(日本分光), 相澤崇史(産総研) / 講演数:15件(招待講演1件含む)

「亜臨界・超臨界流体の高度利用技術の新展開」

オーガナイザー: 佐藤善之(東北大)、佐々木満(熊本大)、堀川愛晃(日本分光), 相澤崇史(産総研) / 講演数:38件(招待講演3件含む)

「CVD・ドライプロセスー構造・機能制御の反応工学ー」

主催: 反応工学部会 CVD 反応分科会

共催: 超臨界流体部会, 材料・界面部会, CVD 研究会

・H25.9.16 超臨界流体部会 第25回部会集会

(メルパルク岡山 岡山)

参加人数 45名(うち招待者 展望講演者 4名)

(追加)

・ニュースレターを2回発行(No. 17・18)

■協賛・共催・その他関連事業

・H25.8.2 第9回 SFC 研究会(夏の勉強会 #2) 協賛

主催:プラスチック成形加工学会東北・北海道支部

場所:千里ライフサイエンスセンター(千里ルームA、会議室 603,604 号室)

参加人数:40名

・H25.9.5-6 2nd International Symposium on Supercritical Fluid in Fiber and Textile Science 2013

主催:繊維学会超臨界流体研究委員会

協賛:繊維学会染色研究委員会, 日本学術振興会繊維・高分子機能加工第120委員会, 化学工学会超臨界流体部会

場所: Toyota Technological Institute, Nagoya

参加人数: 60 名

•H25.9.27 超臨界流体イオニクスの基礎と材料・エネルギー・バイオプロセス応用

～ 超臨界流体の物理化学とプラズマ科学が切り拓く新しい学問領域 ～

主催: 文部科学省 科学研究費補助金 新学術領域研究

「プラズマとナノ界面の相互作用に関する学術基盤の創成」

協賛: 化学工学会 超臨界流体部会 応用物理学会 プラズマエレクトロニクス分科会 繊維学会
超臨界流体研究委員会

場所: 東京工業大学 田町キャンパス キャンパスイノベーションセンター 2階

•H25.9.28–30 International Symposium for the 70th Anniversary of the Tohoku Branch of the Chemical Society of Japan

主催: 日本化学会東北支部

共催: 高分子学会東北支部、日本分析化学会東北支部、化学工学会東北支部、有機合成化学協会東北支部、電気化学会東北支部、日本材料学会東北支部、繊維学会東北北海道支部、無機マテリアル学会北部支部、東北大学大学院理学研究科、東北大学 AIMR

協賛: 仙台観光コンベンション協会、インテリジェント・コスモス学術振興財団、コニカミノルタ科学技術振興財団、附置研究所間アライアンスによるナノとマクロをつなぐ物質・デバイス・システム創製戦略プロジェクト、物質・デバイス領域共同研究拠点

場所: 東北大学

部会共催金: 100,000 円 参加者: 1,360 名

•H25.11.14–16 第54回高圧討論会

新潟市(朱鷺メッセ)

幹事会中に以下の2件が追加で報告された。

•第10回SFC研究会

主催: SFC研究会

共催: 日本生物工学会超臨界流体バイオテクノロジー研究部会

協賛: 化学工学会 超臨界流体部会

2013年2月7日(金) 13:30–17:40

フクラシア浜松町

参加者: 60名

•平成25年度研修シンポジウム

主催 化学工学会 北関東地区化学技術懇話会

共催 宇都宮大学

協賛 化学工学会反応工学部会、化学工学会超臨界流体部会、触媒学会・水素の製造と利用に関する触媒技術研究会およびバイオマス変換触媒研究会

日 時:平成 26 年 2 月 26 日(水)

13:25-17:45

場 所:宇都宮大学工学部(陽東キャンパス)総合研究棟

(2号館)1階 2-212 番教室

参加者:50名

資料 2 平成 25 年会員数 (平成 25 年 9 月 10 日から平成 26 年 3 月 14 日)

会員数 518名 (平成26年3月14日現在)

会員内訳	名誉会員	2名	部会法人会員	6社	13名
	部会個人会員	337名	法人賛助会員	3社	6名
	個人賛助会員	27名	学生会員名		133名

各個人の会員の入会状態は化学工学会のサイトにログインすると確認できる。まれに入会しているつもりでいるが部会登録のチェックをされていない方がいるので、イベントの前など定期的に部会入会を確認するように促すことになった。

企業会員の数が少ないため、非会員と会員の参加費の差を大きくする、超臨界コンソーシアム参加企業に声をかける案が出た。ただし、法人会員を維持するのに毎年稟議を通す必要があるため、単発での参加費が高くてもそちらを選んでしまうこともあるとのこと。

ほかに企業会員を増やす案があれば事務局までご提案ください。

資料 3 その他

■名誉会員

当部会名誉会員推薦 荒井康彦先生 幸田清一郎先生

正会員でかつ 70 歳以上でかつ役職ポイントが 7 点以上の場合のみ推薦できる

■本年度部会 CT 賞推薦 渡邊 賢先生

フランスとの海外交流への顕著な貢献

■プラスチックリサイクル化学研究会 (FSRJ) では毎年1,功労賞(1件以内)、2,功績賞(2件以内)、3,進歩賞(2件以内)に該当する研究者を選考し、6月の総会時に表彰しております。

http://www.fsrj.org/award/award_rule.html

選考の対象者は、自薦・推薦を問わず会員全員から募集しておりますが、十分な候補者数を確保するために当該分野に関して十分な学識を有しておられる会員の方に推薦委員になって頂いております。

今後の予定

推薦書締め切り 2014 年 3 月 31 日

選考
表彰

2014年4月1日 30日
2014年6月 FSRJ 総会

資料4 平成25年度部会収支決算報告

記載内容が誤っていたので訂正した。

平成25年度 超臨界流体部会決算書
超臨界流体部会
部会長 阿尻 雅文 印
超臨界流体部会 正味財産増減計算書
(平成25年3月1日から平成26年2月28日まで)

科目・内訳	予算	決算	差異	備考
I. 経常増減の部				
1. 経常収益				
① 会費収入	355,000	388,000	-33,000	
部会法人会員	180,000	180,000	0	
個人賛助会員	75,000	78,000	-3,000	
法人賛助会員	100,000	130,000	-30,000	
② 事業収入	1,700,000	1,043,000	657,000	
第24回部会集會(懇親会費含む)収入	300,000	264,000	36,000	
第25回部会集會(懇親会費含む)収入	300,000	225,000	75,000	
サマースクール	800,000	554,000	246,000	
超臨界流体講習會	300,000	0	300,000	
③ WG収入	0	0	0	
④ 雑収入	10,000		10,000	
⑤ 利息収入	0	991	-991	
⑥ 他会計からの繰入金	353,000	373,000	-20,000	
本部より(共催金)	0	0	0	
部会交付金(本部より)	353,000	373,000	-20,000	
秋季大会還付金収入			0	
経常収益 計	2,418,000	1,804,991	613,009	
2. 経常費用				
① 事業費支出	1,730,000	1,088,904	641,096	
第24回部会集會(懇親会費含む)支出	300,000	275,380	24,620	
第25回部会集會(懇親会費含む)支出	300,000	214,000	86,000	
年会	50,000	0	50,000	
秋季大会支出	80,000	22,137	57,863	招待講演者参加費+謝金
サマースクール	700,000	577,387	122,613	
活動成果集謝金	0	0	0	
超臨界流体講習會	200,000	0	200,000	
AIChE 活動支援	100,000	0	100,000	
② WG事業費	0	0	0	
③ 管理費支出	685,000	186,309	498,691	
会議費	80,000	48,600	31,400	
旅費交通費	100,000	16,290	83,710	
通信運搬費	30,000	4,295	25,705	切手、宅配便
消耗品費	15,000	24,590	-9,590	賞状、名札
印刷製本費	200,000	41,265	158,735	
雑費	20,000	4,700	15,300	振込手数料など
人件費(アルバイト)	240,000	46,569	193,431	
④ 他会計への繰出金	0	100,000	-100,000	
本部への繰出(含共催)	0	100,000	-100,000	
経常費用 計	2,415,000	1,375,213	1,039,787	
3. 当期経常増減額	3,000	429,778	-426,778	
正味財産期首残高		5,530,408		
正味財産期末残高		5,960,186		
特定資産の増減				
1. 特定資産増加	0	498	-498	
2. 特定資産減少	0	0	0	
3. 当期特定資産増減額	0	498	-498	
特定資産期首残高		3,125,341		
特定資産期末残高		3,125,839		

資料 5 平成 26 年度活動計画

■化学工学会第79年会

開催期間 2014 年 3 月18日(火)–20日(木) (3日間)

開催場所 岐阜大学 岐阜

学生賞選考委員:相澤(産総研)

ポスターセッション:バイオ部会と合同「バイオ, 超臨界流体」20日 71件の発表予定

■超臨界流体の基礎・安全に関するセミナー

5年前に日本大学で単発で開催したセミナーと類似の趣旨のセミナーを行う。

丸善のテキスト「超臨界流体入門」が部会資産としてあるので、活用する。

著者の方を中心に講師を選定する。

会場は東京大学, 秋ごろに開催予定と大島先生から報告があった。

■第12回サマースクール担当者

担当 林瑠美子(東京大)、秋月信(東京大)、石坂孝之(産総研)

日程 8/4-5(月-火)

開催場所 熱海ニューフジヤホテル

タイトル(仮) 超臨界流体を利用した反応制御技術～基礎から応用まで～

内容(案)

超臨界流体の物性を生かした反応制御や、装置設計、その応用技術に関する講演。特に、ナノ粒子合成、生体分子製造、製薬などの技術と、そのために重要となる物性推算や理論、これらを基にした装置設計技術(マイクロリアクター、超高压装置、ユニットオペレーションの組み合わせなど)を中心に講師を選定中。

講師:未定

開催日程と会場は上記の内容で決定したとの報告があった。

■化学工学会第46回秋季大会

開催期間 2014 年 9 月 14 日(水)–16 日(金) (3日間)

開催場所 九州大学(伊都キャンパス)

オーガナイザー:

川波肇(産総研)、中村真(ダイダシ)、松田弘幸(日本大学)、秋月信(東京大学)

シンポジウム 1. 亜臨界・超臨界流体の技術革新に向けた新展開

シンポジウム 2. 亜臨界・超臨界流体技術の最先端基礎物性研究

基礎物性部会と共催 シンポジウム

■化学工学年鑑2014

とりまとめ役	渡邊 賢	東北大学
9.1 超臨界流体全般	渡邊 賢	東北大学
9.2 基礎物性	保科 貴亮	日本大学
9.3 分離・抽出	児玉 大輔	日本大学
9.4 反応・物質変換	長田 光正	一関高専

9.5	材料製造	陶 究	産総研
9.6	プロセス技術	藤井 達也	産総研
9.7	資源循環・リサイクル	森本 正人	産総研

(追加)

■ニュースレターを2回発行(No. 19・20)

役回りの進め方を相談しやすいように依頼するときに前任者の連絡先も合わせて伝えることになった。
相談役・幹事のメールアドレスのリストを作成することになった。

■共催・協賛事業

第3回高分子学会グリーンケミストリー研究会シンポジウム

主 催 高分子学会グリーンケミストリー研究会
 協 賛 日本化学連合, 日本化学会, 触媒学会, グリーンケミストリー研究会, 新化学技術推進協会, プラスチックリサイクル化学研究会, 化学工学会超臨界流体部会, 日本電磁波エネルギー応用学会, 廃棄物・資源循環学会リサイクルシステム・技術研究部会, 日本エネルギー学会, リサイクル部会
 日 時 平成26年8月8日(金)11:00-17:10 / 懇親会 17:30-19:00
 会 場 日本大学理工学部駿河台校舎8号館(予定)(千代田区神田駿河台1-8-14)

14th European Meeting on Supercritical Fluids

日時:2014年5月18-21日 場所: Marseille France

<http://emsf2014.com/>

会議後大学の見学や超臨界流体に関連する施設の見学会が行われると渡邊先生からアナウンスがあった。
これも共催扱いとすることになった。

■関連国際学会等

イベント情報の Web への反映をより確実にしていく(情報提供者は Web 担当の東先生にも情報を同時に送っていただく)

分離技術会年会2014

日時:平成26年5月30-31日 会場:名古屋大学東山キャンパス

発表申込締切:4月11日 要旨原稿提出締切:4月25日

<http://www.sspej.gr.jp/>

RRB10 – 10th International Conference on Renewable Resources & Biorefineries

日時:2014年6月4-6日 場所: Valladolid Spain

<http://www.rrbconference.com/>

International Conferences on Modern Materials and Technologies CIMTEC 2014/the 13th International Ceramics Congress (8-13, June) and of the 6th Forum on New Materials (15-19, June)

日時:2014年6月8-13日 2014年6月15-19日 場所:Montecatini Terme, Italy

<http://www.cimteccongress.org/index.php>

The Collaborative Conference on Materials Research (CCMR) 2014

日時:2014年6月23-27日 場所:Songdo Convensia, Incheon/Seoul, South Korea
<http://www.cc3dmr.org/m2014/>
(物性, 分離のセッションが関連)

Green Chemistry (GRS) Gordon Research Semina
日時:2014年7月26-27日 場所:The Chinese University of Hong KongHong Kong, China
http://www.grc.org/programs.aspx?year=2014&program=grs_green

The 4th International Symposium on Aqua Science and Water Resources (ISASWR2014)
日時:2014年8月14-16日 場所:Taiyuan, China
<http://isaswr2014.sxu.edu.cn/CallForPapers.aspx>

The 4th International Solvothermal and Hydrothermal Association Conference (ISHA2014)
日時 2014年10月26-29日 場所:/Bordeaux France
<http://isha2014.univ-bordeaux.fr>
要旨原稿提出締切:3月28日
(会議の前にスペインでサマースクールを開催)

SFC2014 International Conference on Packed Column SFC
日時:2014年10月8-10日 場所: Basel Switzerland
<http://www.greenchemistrygroup.org/>

7th Green Solvents Conference
日時:2014年10月19-22日 場所:/Dresden/Germany
<http://events.dechema.de/events/en/Events/7th+Green+Solvents+Conference.html>

10th International Conference on Separation Science and Technology (ICSST 14)
日時:2014年10月30日-11月1日 場所:Nara Prefectural New Public Hall, Nara, Japan
発表申込締切: July 31
(後藤先生:オーガナイザー, 堀川様:チェアー)

2014 AIChE Annual Meeting,
日時:2014年11月16-21日 場所: Atlanta Marriott and Hilton Atlanta
Call for Abstract : Monday, May 12, 2014
<https://aiche.confex.com/aiche/2014/cfp.cgi>

資料 6 平成 26 年度部会収支予算案

平成26年度予算 部会 正味財産増減計算書
(平成26年3月1日から平成27年2月28日まで)

超臨界流体部会
部会長 阿尻 雅文



(単位:円)

科目・内訳	H26年予算	H25年予算	予算差異	備考
I. 経常増減の部				
1. 経常収益				
① 会費収入	331,000	355,000	-24,000	
部会法人会員	150,000	180,000	-30,000	
個人賛助会員	81,000	75,000	6,000	
法人賛助会員	100,000	100,000	0	
② 事業収入	1,450,000	1,700,000	-250,000	
第26回部会集会(懇親会費含む)収入	300,000	300,000	0	
第27回部会集会(懇親会費含む)収入	300,000	300,000	0	
サマースクール	650,000	800,000	-150,000	
超臨界流体講習会	200,000	300,000	-100,000	
③ WG収入	0	0	0	
④ 雑収入	10,000	10,000	0	
⑤ 利息収入	300	0	300	
⑥ 他会計からの繰入金	362,000	353,000	9,000	
本部より(共催金)			0	
部会交付金(本部より)	362,000	353,000	9,000	
秋季大会還付金収入			0	
経常収益 計	2,153,300	2,418,000	-264,700	
2. 経常費用				
① 事業費支出	1,570,000	1,730,000	-160,000	
第26回部会集会(懇親会費含む)支出	330,000	300,000	30,000	
第27回部会集会(懇親会費含む)支出	330,000	300,000	30,000	
年会	30,000	50,000	-20,000	
秋季大会支出	80,000	80,000	0	
サマースクール	600,000	700,000	-100,000	
超臨界流体講習会	100,000	200,000	-100,000	
AIChE	100,000	100,000	0	
② WG事業費	0	0	0	
③ 管理費支出	583,000	685,000	-102,000	
会議費	50,000	80,000	-30,000	
旅費交通費	100,000	100,000	0	
通信運搬費	30,000	30,000	0	
消耗品費	15,000	15,000	0	
印刷製本費	150,000	200,000	-50,000	
雑費	18,000	20,000	-2,000	
人件費(アルバイト)	220,000	240,000	-20,000	
④ 他会計への繰出金	0	0	0	
化学工学会本部への繰出(含共催)	0	0	0	
経常費用 計	2,153,000	2,415,000	-262,000	
3. 当期経常増減額	300	3,000	-2,700	
正味財産期首残高				
正味財産期末残高				
特定資産の増減				
1. 特定資産増加	0	0	0	
2. 特定資産減少	0	0	0	
3. 当期特定資産増減額	0	0	0	
特定資産期首残高				
特定資産期末残高				

資料7 その他

■ワーキンググループから分科会への変更について

ターゲットによって分科会にグループ分けを行うことが幹事会で承認された。

分科会とリーダーの案が次のように上がった。

- 基礎物性(リーダー:保科先生)
- バイオマス・天然化合物(リーダー:渡邊先生)
- 材料・合成(リーダー:陶先生)
- エネルギー(リーダー:林先生)

任期は4年(2期),リーダーはサブのまとめ役を1,2名指名する。

サブのまとめ役には企業の方にもできれば入っていただく。

サマースクールの担当を分科会で持ち回りにしていく。

■会計の担当の変更について

部会長の交代と合わせてなど定期的に会計も変わるほうがより健全な運営になる。

「組織名+会計担当者」で口座開設は可能。次期部会長の年度からこの体制に移行。

会計担当変更に必要なオペレーションを事務局でまとめて次期部会長に提示することになった。

■Webサイトの更新案

信州大学 内田先生

企業や研究者から、超臨界流体の研究や仕事について相談がよくありますが、どの先生や研究者に相談すればよいのか分からないとの相談が多いと思います。そこで、希望する先生は連絡先、研究内容、相談可能内容などを掲載すると良いのではないかと考えます。

- ・主要な部会員(特に役員など)の連絡先の掲載
- ・各部会員の専門分野の掲載 → 企業などの方がどの方に相談すれば良いか分からないことが多いと聞くため。
- ・日本の超臨界流体部会における研究分野, 研究テーマ, 卒業論文, などの掲載

東京大学大島先生

特に強い意見ではありませんが、全体的に文字が小さくてやや見づらいことと、情報がやや古い(アップデートが追いついていない)ことが気になります。特に、イベントの情報はよく参照していますので、できるだけ新しい情報を提供して頂けるとありがたく思います。

産総研 相澤さん

ホームページに「部会入会を考えている方へ」の項目を追加し、超臨界流体部会入会のメリットを説明
会員ホームページの充実と中身をトップページに明記例えば現状「会員向けページ」と表示されていると
ころを、「以下は会員のみ閲覧可」という項目の下に、「ニュースレター」、「部会集会議事録」、「サマース
クール資料(5年経過後から閲覧可能)」、「簡易物性計算」、「プレゼン用フリー素材」のような項目を設け
て、トップページで会員向けページの内容がわかるようにする。加えて、会員向けページの充実を図る。
なお、上記の項目は一例です。

本年度は部会長・事務局・東先生で更新を進める。

最終的には事務局で Web サイトの管理も兼ねる。

Webサイトの更新案を事務局・東先生でまとめて後日提案することになった。

◇他、議題

信州大学 内田先生

○超臨界流体部会のパンフレット作成の提案

以前にも提案しましたが、超臨界流体部会のパンフレットを作成したらいかがでしょうか？

私はここ数年にわたし多くのセミナー会社主催の超臨界流体入門講座・セミナーや他学会での講演
を行い、超臨界流体部会の紹介をしてきました(今度だけで6回)が、パンフレットがあると詳しい紹
介ができると思います。また、これは超臨界流体部会員の会員数の増加にも繋がると思います。

WebサイトにPDFファイルのパンフレットを作成(事務局)して掲載することになった。

○超臨界流体部会主催の「超臨界流体技術入門講座」の開催の提案

さらに、上記にも関連しますが、私はこれまで「超臨界二酸化炭素利用技術の入門講座」を多く行っ
てきましたが、「超臨界・亜臨界水の利用技術の入門講座」が少ないと聞いています。そこで、来年
度は超臨界流体部会主催の「超臨界流体技術入門講座」を開催したらいかがでしょうか？内容は、
「超臨界二酸化炭素利用技術の基礎と応用」と「超臨界水・亜臨界水利用技術の基礎と応用」の 2
部構成が良いと考えます。

安全・基礎セミナーの開催で対応する。

資料 8 受賞

情報があれば随時事務局までご連絡ください。

坂部 淳一(東京工業大学/下山研究室)

分離技術会年会2013 優秀賞

空孔理論に基づく状態方程式を用いた超臨界二酸化炭素に対する薬物の溶解度推算
平成25年5月

山本大悟(静岡大学大学院工学研究科/佐古・岡島研究室)/

平成25年度分離技術会年会 学生賞/

超臨界二酸化炭素中の金属錯体の溶解度測定とナノ粒子コーティングへの応用/

平成 25 年 5 月

高原梢江(信州大学大学院理工学系研究科物質工学専攻内田研究室)

平成 25 年度分離技術会年会学生賞

飽和溶解圧力探索法を利用した超臨界二酸化炭素に対する有機物の溶解度の測定と相関

平成 25 年 5 月

仲川洋平(信州大学大学院理工学系研究科物質工学専攻内田研究室)

平成 25 年度分離技術会年会学生賞

超臨界溶体急速膨張法を利用したルブレ膜創製に及ぼす基板表面温度の影響

平成 25 年 5 月

後藤敏晴(日立電線株式会社)

プラスチックリサイクル化学研究会 技術進歩賞

超・亜臨界条件下でのプラスチックの連続リサイクル処理技術の開発

平成 25 年 6 月

林 祐衣(名古屋大学後藤研究室)

6th International Conference on Green and Sustainable Chemistry

RSC Publishing Green Chemistry Poster Prize

Novel Green Reaction Process Using Pulsed Discharge Plasma at gas-liquid interface

平成25年8月

遠藤康裕(日本大学大学院工学研究科物質化学工学専攻博士前期課程 環境化学工学研究室)

化学工学会第45回秋季大会「次世代技術を担う最新の基礎物性研究」【優秀学生講演賞】

グライム -スルホン酸 スルホン酸 スルホン酸 リチウム塩溶液の密度・粘度・二酸化炭素溶解度

平成25年9月

横崎 祐太(東京工業大学下山研究室)

化学工学会盛岡大会学生賞・銅賞

超臨界含浸法を用いた眼科ドラッグデリバリーシステム作製における水添加の影響

平成25年8月

菅村 太希(東京工業大学/下山研究室)

化学工学会盛岡大会学生賞・特別賞

超臨界乾燥を利用したイオン液体ゲルバインダーによる空気電池 正極の創製

平成25年8月

Yuya Maeta (東北大学大学院工学研究科附属超臨界溶媒工学研究センター)

平成25年度化学系学協会東北大会及び日本化学会東北支部70周年記念国際会議 優秀ポスター賞

Vapor-liquid equilibrium measurements for modeling of supercritical fluid rectification of natural components

平成25年9月

Takuya Morioka (東北大学大学院環境科学研究科)

平成25年度化学系学協会東北大会及び日本化学会東北支部70周年記念国際会議 優秀ポスター賞

Oxidative Stability of Zero-Valent Copper Nanoparticles Synthesized with a Continuous Supercritical Hydrothermal Method

平成25年9月

Yuya Hiraga (東北大学大学院環境科学研究科)

平成25年度化学系学協会東北大会及び日本化学会東北支部70周年記念国際会議 優秀ポスター賞
Application of PC-SAFT Model to Infinite Dilution Partition Coefficient of Aromatic Compounds in Ionic Liquid and Supercritical CO₂
平成25年9月

Ikuo Ushiki (東北大学大学院工学研究科附属超臨界溶媒工学研究センター)

平成25年度化学系学協会東北大会及び日本化学会東北支部70周年記念国際会議 優秀ポスター賞
Development of an accurate prediction method for VOC adsorption equilibria under supercritical carbon dioxide conditions
平成25年9月

中村 崇晃 (東北大学大学院工学研究科附属超臨界溶媒工学研究センター)

化学工学会第45回秋季大会超臨界流体部会主催シンポジウム学生賞
エチレン/酢酸ビニル共重合体(EVA)製造に関する4成分系相平衡のシミュレーション
平成25年9月

Shiho Matsuda, Masaru Watanabe, Taku Michael Aida, Richard Lee Smith Jr.

(東北大学大学院環境科学研究科)

International Symposium on Chemical-Environmental-Biomedical Technology 2013 ポスター賞
Solid Acid Catalysts for Cellulose Hydrolysis in 1-butyl-3-methylimidazolium chloride ([Bmim][Cl])
平成25年9月

横崎 祐太(東京工業大学/下山研究室)

化学工学会第45回秋季大会超臨界流体シンポジウム・優秀賞
超臨界溶媒含浸法を用いた眼科ドラッグデリバリーシステム作製における水添加の影響
平成25年9月

東郷 昌輝(東京工業大学/下山研究室)

平成25年度日本化学会東北支部70周年記念国際会議・優秀ポスター賞
Application of PC-SAFT equation of state to modeling of high temperature and pressure phase equilibria with water and hydrocarbon
平成25年9月

孕石翔吾(静岡大学大学院工学研究科/佐古・岡島研究室)/

化学工学会第45回秋季大会超臨界流体部会シンポジウム 学生賞/
超臨界流体を用いるアラミド繊維強化プラスチックのリサイクル/
平成25年9月

名内一貴(静岡大学大学院工学研究科/佐古・岡島研究室)/

化学工学会第45回秋季大会超臨界流体部会シンポジウム 学生賞/
亜臨界水前処理+同時糖化発酵を用いるペーパーラジからのバイオエタノール生成/
平成25年9月

高原梢江(信州大学大学院理工学系研究科物質工学専攻内田研究室)

化学工学会第45回秋季大会 超臨界流体部会・基礎物性部会学生賞
紫外可視分光法を用いた飽和溶解圧力探索法による超臨界 CO₂ 中の有機物の溶解度測定
平成25年9月

林 祐衣(名古屋大学後藤研究室)

化学工学会 第45回秋季大会超臨界流体部会主催シンポジウム学生賞
超臨界アルゴン/水溶液界面におけるパルスアーク放電プラズマの生成および反応への応用
平成25年9月

下田 絵里子(東京大学/大島研究室)

Supergreen 2013 (The 8th International Conference on Supercritical Fluids) BEST POSTER AWARD
Kinetic analysis on the effect of alcohol addition in supercritical water oxidation of ammonia

平成25年10月

高原梢江(信州大学大学院理工学系研究科物質工学専攻内田研究室)

SuperGreen2013-The 8th International Conference on Supercritical Fluids, Best Poster Award (Silver Award)

Measurement of Solubility of Acenes in Supercritical Carbon Dioxide by the Determination of the Saturation States Using UV-Visible Spectroscopy

平成 25 年 10 月

西島正道(信州大学大学院理工学系研究科物質工学専攻内田研究室)

SuperGreen2013-The 8th International Conference on Supercritical Fluids, Best Poster Award (Gold Award)

Production of Nanoparticles of Theophylline Using Rapid Expansion of Supercritical Solutions with Solid Cosolvent (RESS-SC) Technique

平成 25 年 10 月

星野倫太朗(名古屋大学後藤研究室)

8th International Conference on Supercritical Fluids (Supergreen2013, Best Student Poster Award)

Fractional extraction of flavonoids with different polarities from by-product of citrus juice through a single operation using supercritical carbon dioxide(SCCO₂) and H₂O

平成25年10月12日

坂部 淳一((東京工業大学下山研究室)

分離技術会年会2013 東洋エンジニアリング賞

空孔理論に基づく状態方程式を用いた超臨界二酸化炭素に対する薬物の溶解度推算

平成25年5月

坂部 淳一(東京工業大学下山研究室)

第3回CSJ化学フェスタ2013 最優秀ポスター発表賞

分子情報を融合した状態方程式による超臨界溶体急速膨張法での薬物微粒子の設計

平成25年11月

松本 寛毅(東北大学大学院工学研究科附属超臨界溶媒工学研究センター)

第16回化学工学会学生発表会(東京大会)優秀賞

超臨界CO₂を用いた白金担持メソポーラスシリカのOne-pot合成

平成26年3月

高橋 直人(東北大学大学院工学研究科附属超臨界溶媒工学研究センター)

第16回化学工学会学生発表会(東京大会)優秀賞

超臨界CO₂雰囲気化における活性炭からのVOC脱着速度の相関および推算

平成26年3月

資料9 会員移動

入会

会員種別	氏名	所属	入会日
部会個人会員	呉 楠	大阪ガスケミカル(株)	20131001
部会学生会員	足立 晃太郎	広島大学	20131101
部会学生会員	兒玉 裕哉	広島大学	20131101
部会学生会員	星野 倫太郎	名古屋大学	20131201
部会学生会員	高橋 亜由美	日本大学	20131201
部会個人会員	岡伸人	東北大学	20140101
部会学生会員	菅原稔也	日本大学	20140101
部会学生会員	渡邊正輝	日本大学	20140101
部会学生会員	森忠明	八戸工業高等専門学	20140101
部会学生会員	田中達朗	金沢大学大学院	20140101
部会学生会員	岳真太郎	東京大学大学院	20140101
部会学生会員	久保達美	名古屋大学	20140101
部会学生会員	渡辺伸司	東北大学大学院	20140101
部会学生会員	TsarevaNadezhda	名古屋大学	20140101
部会学生会員	守月哲朗	名古屋大学	20140101
部会学生会員	児玉祥子	名古屋大学	20140101
部会学生会員	小川真輝	名古屋大学	20140101
部会学生会員	BOONNOUNPanatpong	名古屋大学大学院	20140101
部会学生会員	マルディアンシャマルディ	名古屋大学大学院	20140101
部会学生会員	中村 彪	日本大学	20140201
部会学生会員	山 拓司	日本大学	20140201

退会

会員種別	氏名	所属	退会日
部会個人会員	西海英雄	法政大学	20140101
部会学生会員	松井哲治	神戸市立工業高等専門学	20140101
部会法人会員	三井化学(株)		20140228
個人賛助会員	山村美彦	日本製鋼所	20140228
個人賛助会員	佐野隆之	巴川製紙所	20140228
個人賛助会員	松村幸彦	日本分光	20140228